

ひがしゆり

HIGASHIYURI

東由利町

2001 6 NO.555



黄桜美人 スタート!



町イメージ
キャラクター
「モウ太くん」

————— 5 / 13 黄桜まつり健康ウォークマラソン

黄桜の里はまつりで目を覚ます

八塩の春 今年もにぎわいました



黄桜まつり

桜の名所として県内外に広く知られるようになってきた八塩こいの森。今年も新緑の中で黄桜まつりが行われました。今年のイベントは十二・十三日の二日間で行われ、両日の来客数は二万人を超えました。

観桜会は四月二十八日、五月十五日の期間で開催され、期間前半は連日の好天に恵まれ、桜も例年並みからやや早いぐらいで見ごろを迎えました。開花状況は、吉野桜が四月二十五日に満開を迎え、黄桜は八日、八重が十二日にそれぞれ見ごろとなりました。

期間中のイベント第一弾は、ゴールデンウィーク六日に開催されたKIZAKURAロックドリムフェスタ。桜を見に訪れたお客さんは、ベンチや芝生の上など思い思いの場所に座り、野外ステージでの演奏を楽しんでいました。

まつりイベントでは、十二日土曜日の夜に湖上火火大会が行われました。夕方の時間帯になると、日中の花見客と入れ替わりに花火のお客が集まり、夜のダム湖畔の道路沿いは例年のにぎわいとなりました。夜のいいこの森はまだ

まだ寒く、湖畔で花火を見ているお客さんの服装は日中とは異なり、防寒用の上着を重ねた姿が特徴的でした。

翌日十三日にはウォークマラソンや黄桜歌謡ショーなどが行われ、お昼近くには来場者数がピークに達し、田代の沖田橋付近まで車がつながるほどになりました。三善英史さんと円山和子さんの歌謡ショーでは新曲なども披露され、道路いっぱいにつめかけたお客さん達は、照りつける日差しの下帽子やタオルで日よけをつくり、最後までステージを楽しんでいました。

今年の観桜会は、特に週末に最高の天気となり、全日程とも五月晴れの少し暑いぐらいの天気のもとで行われ、期間中八塩こいの森を訪れた人数は三万四千人を超えました。八塩こいの森はレクリエーション施設整備が昨年で終わり、この夏には新しくパークゴルフ場がオープンします。『黄桜の咲く公園』として、毎年来場者数が増えている「八塩こいの森」。計画的に植樹されてきた若木もやがて見ごろを迎えるようになり、来年以降の八塩こいの森は、いつその桜であふれるようになります。

晴天の下 ダム湖のほとりに 活気あふれ……



野鳥の家前で行われた野点（のだて）席。茶器は町陶芸クラブの作品。A L Tのエミリさんも着物姿で参加しました。（13日）



野外広場では大空いっぱいに凧が飛び交っていました。（13日）



場内には薬物乱用防止キャラバンカーが来町していました。キャラクターマスコットが子供たちと一緒に記念写真を撮る姿も。（6日）



商工青年部による大ジャンケン大会。町商工会長に勝てば豪華景品が。（13日）



こちらは同じくちびっこの当てゲーム。お菓子はすぐそこなのに、なかなか難しい。（13日）



昨年11月に完成した八塩ため池整備事業の竣工記念碑。ダム湖畔の黄桜の下にたたずんでいる。



「雨」の大ヒットで知られる三善英史さん。当日東京からかけつけ新曲を披露してくれました。（13日）



中仙町出身の演歌歌手、円山和子さん。途中、またたび姿に変身し観客席に飛び出し握手をする姿も。（13日）



湖上花火は八塩の季節の風物詩。今年もたくさんの観客が訪れました。（12日）

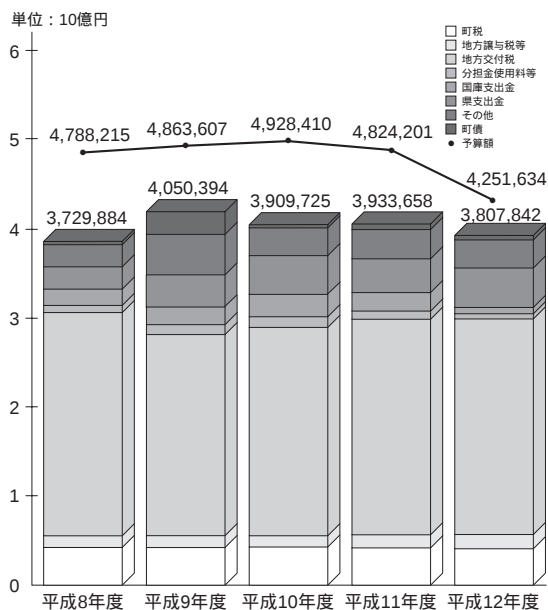


野外ステージで行われたロックフェスタは5バンドが出演。いこいの森に若いエネルギーがこだましました。（6日）

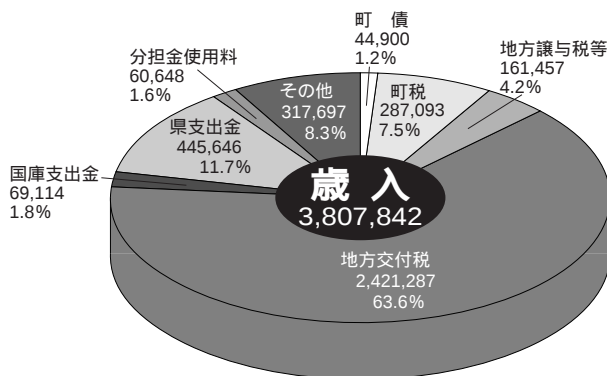
お知らせします。町の家計簿

平成12年度財政状況公表

(平成13年3月31日現在)

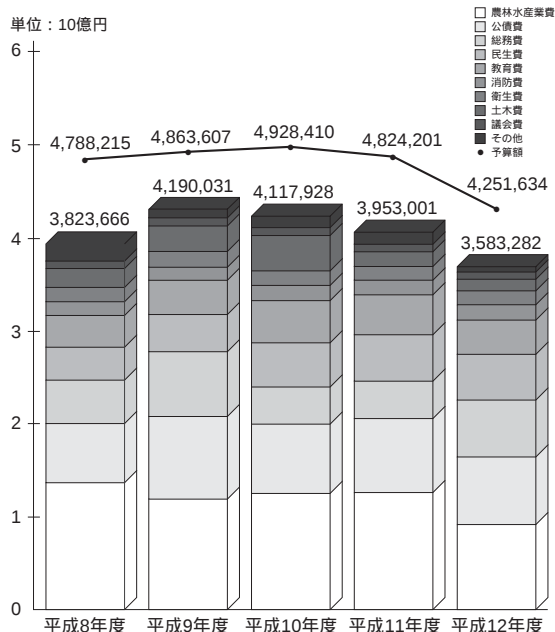


歳入

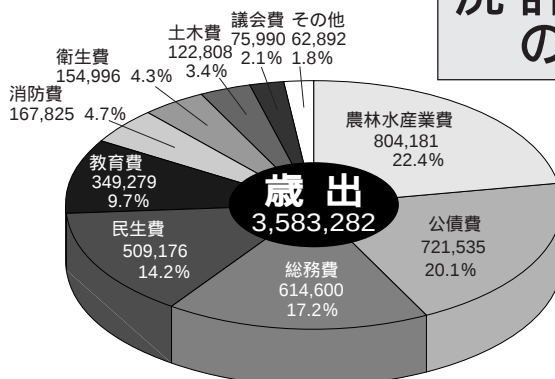


年度別推移

総額と構成比



歳出



一般会計の 収支状況

町では、町民の皆さんに町の財政事情を知っていただくため、条例の規定により毎年二回、財政状況を公表しています。今回は、平成十二年度（平成十三年三月三十一日現在）の執行状況の概要をお知らせします。
なお平成十二年度の各会計は、五月三十一日まで（出納整理期間）の収入と支出が加算されて決算額となります。

特別会計の収支状況

(単位：千円)

区分	予算現計	歳入				歳出			
		収入済額	収入率	上半期	下半期	支出済額	執行率	上半期	下半期
国民健康保険事業勘定特別会計	450,146	468,889	104.2%	206,823	262,066	367,474	81.6%	139,496	227,978
老人保健医療事業特別会計	676,103	591,079	87.4%	278,536	312,543	600,869	88.9%	301,714	299,155
簡易水道事業特別事業	270,417	96,460	35.7%	53,686	42,774	218,610	80.8%	68,243	150,367
農業集落排水事業特別会計	341,187	8,204	2.4%	3,603	4,601	328,478	96.3%	89,139	239,339
特別養護老人ホーム東光苑特別会計	274,963	209,518	76.2%	83,907	125,611	264,414	96.2%	123,423	140,991
大平スキー場運営費特別会計	9,707	2,014	20.7%	20	1,994	7,903	81.4%	946	6,957
合 計	2,022,523	1,376,164	68.0%	626,575	749,589	1,787,748	88.4%	722,961	1,064,787

会長に高橋慶助氏を再選

同職務代理者には鈴木博氏再選

農業委員会

改選後初の農業委員会が五月八日、役場会議室で行われ、会長に高橋慶助氏（館合新田・六十一歳）、同職務代理者に鈴木博氏（大琴・六十歳）が選任されました。

会議には先の選挙で選ばれた十人と、議会、秋田しんせい農協東由利地区、由利農業共済組合から推薦さ

秋田しんせい農協東由利地区推薦



阿部 和雄氏
（杉森 58歳）



小松 勝男氏
（畑村 55歳）

由利農業共済組合推薦



小野 明子氏
（蔵新田 48歳）

議会推薦委員（2名）



梅津 眞子氏
（大琴 41歳）

れた四人の総勢十四人の委員が出席しました。中でも議会推薦の二委員は町で初めての女性委員となり、今後の農業振興に向けて、農業経営を支える女性の視点からの意見と活躍が期待されます。

なお、県内での女性委員は、本町を含め四月現在で二十六名、女性委員の多いところでは中仙町の四人などとなっています。

五月は例年どおり行事の多い月でした。まず「黄桜まつり」ですが、今年はどうも満足する色ではありませんでした。八塩の桜の約半分を占めるソメイヨシノは、春先に殆どの花芽がウソの食害に遇い今年もちらほらとなることは覚悟の上でしたが、自慢の八重桜の色と花の厚さがイマイチでした。それと競うことで、よりきれいに見える黄桜も見慣れた私たちからすればどうも不満でした。

しかし、新聞やテレビ・ラジオ等メディアの報道効果もあり、たくさんの人に見ていただきました。十二日、十三日のイベント日は天候にも恵まれ、駐車場も満杯になり大変な混雑になりました。『また出直す...』と途中から帰られた人もおられたとのこと、大変申し訳なく思ったりしましたが、まずは、今年もいい黄桜まつりになりました。十二夜の湖上花火も、凝縮された三十分間とはいえ、なかなかのものでした。

前日の十一日には「植樹祭」を行いました。二十一世紀のスタートの年を記念して、三小学校の新生一年生に桜などを植えてもらいました。NTTドコモ秋田支店からは十万円相当分の若木十二本をいただき、会場の八塩いこいの森に横山秋田支店長さんにもお出でいただいで一緒に植樹していただきました。

保護者、地区の自治会長さんたち、老人クラブや八塩山麓会、議会の皆さんにもお付き合いをいただきました。約二アールの土地に桜四十五本と八塩山麓会から寄贈いただいたモミジ、ヤマボウシなど合わせて九十五本を植えていただきました。子供たちの成長に合わせ十年後、二十年後が楽しみであります。

町長日記

二十日には「東京東由利会」の総会があり、遠藤議長さんはじめ常任委員長さんたちにも一緒いただきました。赤羽会館の会場には今年も百四十人ほどが参加されました。故郷に対する多くの思いや皆さんの活躍の程も聞かせてもらいました。ご出席の多くの皆さんには、毎月の町広報も見てもらっておりますので町の状況は良く把握されておられる様子でしたが、改めて地方分権のこととか役場新庁舎の建設、今年の黄桜の様子などを申し上げました。来年は東由利会結成四十周年ということです。東由利会の益々のご発展を祈念してまいりました。

二十五日には秋田市で「東由利町を語る会」がありました。この会は以前、県庁に勤務する町出身者と役場幹部職との情報交換会を発展的に解消し、秋田市に住む中堅どころの年齢の皆さんに世話人をお願いし結成してもらった会でありましたが、今回で四回目になりました。約七十人ほどのご出席でした。

東由利町は町内在住者だけの町ではなく、故郷を同じくする方々がみな町民です。町づくりに色々心配して手伝ってください。と、お願いもしたことでした。いずれの会も役員の皆さんには本当に大難儀をおかけ致しました。ありがとうございました。

二十七日には住吉分館主催の「八塩町民登山」が行われました。あいにくの雨模様でもあり、参加者は二十人程でありましたが、山野草の説明などをしてもらいながら、元気な子供たちと一緒に登山は楽しいものでした。

田植えも順調に進み、四季折々に風情のある東由利町は静かに春から夏へ衣替えしていきます。

「やる気」応援します

ことぶき大学と
わくわくサークル活動から

公民館は住民の自由なたまり場である。
公民館は住民の集団活動の拠点である。
公民館は住民にとっての「私の大学」である。
公民館は住民による文化創造の広場である。
「三多摩デー」による公民館の役割より

公民館は住民の要望にこたえ、地域民主化の推進を目的とする行政機関であり、今年も様々な活動が予定されています。

この「公民館だより」では、公民館を利用した町民の皆さんの活動状況を毎月紹介していく予定です。今回は、高齢者と児童による活動を報告します。皆さんの自主活動に公民館が果たす役割は何でしょうか。

▲ことぶき大学のパソコンコースから

人生のベテランの皆さんは「ことぶき大学」で頑張っています。

五月二十四日行われた二回目の同大学では、午前中に「いきいき健康づくり講習会（指導…大庭喜一郎氏）」が、引き続き午後からコース別研修が行われ九十六人が参加しました。

このコース別研修は事前に設定したコースから、大学生たちがそれぞれ自由に選択し、活動を行うもの。今回のコースは、畑作、ゲートボール、園芸、カラオケ、パソコンの五コース。自ら選んだ研修内容だけにどの顔も真剣そのものでした。

IT革命が叫ばれる今、パソコンコースの佐藤長一さん（新処）は、キーボードを打ちながら「パソコンに抵抗感はないです」と笑顔。「さわったことはなかったけれど楽しかったです。あと三回たのしみです」とひとこと。また、畑作コースの阿部ヨリ子さん（蔵）、遠藤キミエさん（十二ノ前）はししとこの苗を

生きがいを探して

～ことぶき大学

人生の先輩に負けじと町内の小学生たちもがんばっています。本年度から小学生を対象にした文化系活動「わくわくサークル」と体育系活動「さわやかサークル」が一つになり、新「わくわくサークル」として再出発。このサークルは小学生の自主的な活動の場を提供しようといわれているもので、月一回、学校週休日に小学一年生から四年生までの十七人が活動を行います。

楽しさ見つけよう

～わくわくサークル

植えながら「育てることがとにかく好きで」と額に汗を浮かべながら話してくれました。

生きがいは他ならない自分自身の楽しみから生まれるもの。今後ことぶき大学にとどまらない自主的な活動が期待されます。



▲わくわくサークルの陶芸活動から

五月十二日に行われた入会式では、自己紹介に引き続き、行いたい活動を自主的に計画しました。

活動内容は多岐に富み、陶芸、理科、ボランティア、サイクリング、写真、パソコン、料理、工作、手芸、新聞づくりが選ばれ、一年を通じて楽しみながら活動を行います。

なおこのサークルは児童の途中参加、保護者の参加も可能です。希望者は公民館内サークル担当まで。

自ら考え、行動することは大変ですが、それ以上に大きな充実感をもたらします。公民館はそんな自主活動を応援しています。お気軽にお声をかけてください。

スポーツ祭は6月17日

スポーツ祭（トラック&フィールド）の種目は前年同様、自治会対抗種目四種（ゲートボール、レス、ニョークリフ、アップ作戦、ワールドリル）、軽く二連発、自由参加種目等に分かれています。なお全種目に参加賞を準備しています。

好評のお楽しみ抽選会は豪華景品等を準備しています。抽選番号は後日配布のプログラムに記入した上で全戸に配布しますので、当日ご持参ください。

日頃の運動不足解消も兼ねて、青空の下で元気に体力づくりをしてみませんか。

春の八塩を駆ける ～健康ウォークマラソン



▲天候に恵まれた健康ウォークマラソン

5月13日に行われた第14回健康ウォークマラソン。
天候に恵まれ、213人もものランナーが参加、桜の花舞う八塩ダム湖周回道を楽しみながら走っていました。
なお、ウォークマラソン各種目別結果は次のとおりです。

黄桜まつり 第14回健康ウォークマラソン記録

	1位	2位	3位	4位	5位	6位
小学校男子	柴田遼太郎 (羽後町)	佐々木啓孝 (西目町)	今野 弘成 (本荘市)	小笠原広大 (本荘市)	五十嵐健太 (本荘市)	滝 渉 (大雄村)
小学校女子	高橋歩奈未 (本荘市)	高橋 志帆 (羽後町)	佐藤由里絵 (本荘市)	野原奈津希 (大雄村)	野原麻友美 (大雄村)	畠山 美香 (横渡)
中学校女子	石黒絵理香 (秋田市)	菊地 里奈 (仁賀保町)	佐藤 忍 (田代)	桐越 早織 (仁賀保町)	千葉 里菜 (蔵新田)	畠山 翔子 (大吹川)
一般女子 (2km)	真坂ヤスノ (鳥海町)	伊藤 紀子 (羽後町)	鏡 恵子 (湯沢市)	尾留川テツ子 (本荘市)		
壮年男子	高橋 善弘 (岩城町)	田倉 仁志 (平鹿町)	高原 正 (本荘市)	小番 幸雄 (本荘市)	佐藤 友也 (本荘市)	高橋 忠雄 (湯沢市)
親子ペア	原田満・美咲 (羽後町)	佐藤勉・里美 (雄物川町)	鈴木達哉・春瀬 (羽後町)	伊藤薫・晴香 (羽後町)	斎藤良子・零 (本荘市)	鈴木徳之・美徳 (舟打場)
三代トリム	高橋キサ・鈴子 ・鈴香(新町)					
中学校男子	東海林大地 (平鹿町)	佐々木優児 (仁賀保町)	吉田 智毅 (仁賀保町)	渡辺 良祐 (仁賀保町)	大和屋尚亨 (平鹿町)	佐藤 裕基 (寺田)
一般男子 (4km)	小野 英一 (秋田市)	佐藤 仁 (秋田市)	菊地 博 (仁賀保町)	中山 富雄 (本荘市)	佐々木 進 (本荘市)	渡辺 昭一 (大森町)
一般女子 (4km)	木内 亨恵 (湯沢市)	長塚 弘子 (湯沢市)	佐々木千恵子 (本荘市)	伊藤 秀子 (羽後町)	黒澤 昌子 (十文字町)	
一般男子 (9km)	尾留川義男 (本荘市)	伊藤 正文 (秋田市)	森川 鐵雄 (森吉町)	吉井 照勝 (大内町)	杉田 善男 (秋田市)	佐々木謙二郎 (稲川町)

真剣にパソコン取り組む ～IT講習会



▲真剣なまなざしの受講生

全国規模で実施されているIT講習ですが、本町でも4月19日から公民館で講習が始まりました。
さっそく第一期講習に申し込んだ13人の受講生は全員真剣そのもの。パソコンの基礎を学ぼうという強い意気込みで取り組んでいました。
最終日、4日間合計12時間の講習を終了した受講生はどの顔も満足げ。
「さっそく自分のパソコンを」「メールを実際に送ってみたい」などの明るい声であふれていました。
なお、IT講習については次回公民館ページで詳しくお知らせする予定です。

5月

公民館行事二ニュース

高橋さんが功労者表彰 ～県体育指導委員研究大会



▲喜びの高橋さん

第四十四回県体育指導委員研究大会が十九日能代市で行われ、県内各地から委員約四百五十人が参加しました。
席上、本年度功労者表彰(対象者三十三人)が行われ、本町の高橋ゆき子さん(館合新田)が表彰を受けました。
高橋さんは表彰を受けて「これからも体育振興のためにがんばっていきたく」と話してくれました。

新緑の中で ～八塩登山



▲森林浴を楽しんだ参加者

五月二十七日に住吉分館が実施した「新緑の八塩登山」。参加者二十一人が登山を楽しみながら、心と体のリフレッシュをはかりました。

新着本紹介

6月

- 今月も本がたくさん入荷しました。ぜひ公民館図書室においてください。
あなたと読む恋の歌百首/俵万智
▼天の刻/小池真理子
▼命/柳美里
▼魂/柳美里
▼ギリシャ神話の悪女たち/三枝和子
▼ソウルコレクション/光野桃
▼光に向かつて100の花束/高森顕徹
▼タンポポの雪が降っていた/加納諒一
▼16週あなたといた幸せな時間/向井亜紀
▼20世紀のベストセラーを読み解く/江谷満子、井上理恵
▼少年とアフリカ/坂本龍一、天童荒太
▼オーディボンの祈り/伊坂幸太郎
▼銀河帝国の弘法も筆の誤り/田中啓文
▼ジャンプ/佐藤正午
▼ドラゴンの眼 上・下/スティーヴンキング
▼ねぎぼうずのあさたろうその1-3/飯野和好
▼花を旅する/栗田勇
▼片想い百人一首/安野光雅
▼動物病院笑い話555/ボツボ先生
▼誤植読本/高橋輝次
▼スーパーラット/金丸弘美
▼非行少女を処刑しろ/桃瀬葵
▼物語の街か村へ/安野光雅
▼風/三浦ナオミ
▼ぶらり〜乗る/いしいしんじ
▼よろこびの木ノアストリッド・リンドグレン
▼そうだったのか現代史/池上彰
▼夫と妻/永六輔
▼親と子/永六輔
▼嫁と姑/永六輔
▼がん患者として長期生存する医者たち/菊池憲一

本町の2人が栄えある受章

春の叙勲

長年にわたってその道に携わり、国や社会に大きな功績を残した人に贈られる春の叙勲が四月二十九日付で発表され、本町からは小松順之助さん（中通・教育功労）が勲四等瑞宝章、畑山昭一さん（島・教育功労）が勲五等瑞宝章を受章されました。お二人の略歴・功績は次のとおりです。

勲四等瑞宝章
教育功労



小松 順之助氏
(76・中通)

昭和23年から教諭、分校主任及び教頭として29年以上勤務した後、教育センター教育研究部長、由利高等学校長、東由利町教育委員長を務めました。また、平成元年に東由利町功労者表彰を受けています。

勲五等瑞宝章
教育功労



畑山 昭一氏
(74・島)

昭和24年から36年余り教職に携わり、その間、蔵小学校、高瀬小学校、東由利中学校の校長を歴任。その後、東由利町教育長を務められました。また、平成10年に東由利町功労者表彰を受けています。

アイドルをさがせ!

菊地 桜ちゃん
(鎭西・1歳)
お父さん：直さん
お母さん：南実さん
お話し：直さん

名前の由来は？
「この子が生まれる日、ちょうど石沢小学校の前の桜並木が満開で、その美しさに感動したお母さんが『桜』とつけました。」
好きなものは？
「動物が大好きで、どんなに泣いていても飼っている犬のチビの所に行く機嫌がよくなります。」
最近のエピソードは？
「『菊地桜ちゃん』と呼ばば、何回でも『んー？』と返事をします。歌番組が始まると、おじいちゃんと一緒に夢中になってテレビを見ています。」
本人の性格は？
「決して自分の意志をまげません。動物好きなので、やさしいところもあるかも。」
将来はどんな人に？
「どんな事にもめげず、強く優しい子に育てて欲しいです。」

14人が県商工会連合会長等から表彰

優良従業員表彰

優良従業員表彰者一覧

(敬称略) (内は勤続年数)

■秋田県商工会連合会長表彰

菊地 純悦 (株)佐藤組 (三十七年)

小松 一郎 (株)佐藤組 (二六年)

■東由利町長表彰

小松 由夫 (株)佐藤組 (二〇年)

阿部 正悦 (東由利砕石) (二〇年)

小笠原久雄 (東由利砕石) (二六年)

松田 保雄 (東由利砕石) (二六年)

大庭 正 (南大庭建設) (二五年)

■東由利町商工会長表彰

畑山 豊隆 (秋田ルビコン) (二六年)

佐藤 芳雄 (秋田ルビコン) (二六年)

長谷山貞子 (秋田ルビコン) (二五年)

遠藤 寿子 (秋田ルビコン) (二五年)

高橋キツ子 (株)佐藤組 (二一年)

佐藤 晃 (東由利砕石) (二一年)

遠藤 弘幸 (南東邦製作所) (二〇年)

五月十日、有郷館において商工会通常総会が行われ、その冒頭で十四人の方が優良従業員として表彰されました。表彰を受けた後、菊地純悦さんが代表して謝辞を述べ、「今後も益々地元の発展に貢献するために頑張ります」とこれからの意気込みを話されました。



▲菊地純悦氏



▲小松一郎氏

感謝の気持ちと共に、今後の活躍に期待が寄せられます。



▲しっかりと育つように願いを込めます

五月十一日、八塩いこいの森で二十一世紀最初の年を記念した植樹祭が行われました。

当日は朝からの雨が上がり、会場には、今年町内の小学校に入学したばかりの一年生四十一名と保護者、老人クラブなど約百名が参加しました。苗木はNTTドコモ東北と八塩山麓会から贈呈されたものを含め九十五本。開会セレモニーが終わると、ぬかるみが残る山の斜面にみんな元気に上り植樹を開始しました。植えられたのは、八重桜、黄桜、ナナカマド、モミジ、ヤマボウシの五種類。あらかじめ仮植されていた苗に土をかぶせ、植樹を完成させていました。

新緑の八塩に親子で黄桜植樹

2001年記念東由利町植樹祭



▲田んぼの外から放たれた苗をキャッチ

五月二十三日、大琴小の学校農園で、全校児童がサツマイモの植栽と田植えを行いました。この体験学習は、収穫の喜びを味わい、農作業に興味や関心を持つてもらうと毎年行っているもので、上級生が新一年生に教えながら作業をするというほほえましい場面も見られました。

田植えでは、はじめ泥に足を入れるのをためらっていた子どもたちも、「冷たくて気持ちいい」と泥だらけになって作業を楽しんでおり、指導にあたっていた地域の人たちにも笑顔がこぼれていました。この日植えられた作物は、秋の収穫感謝祭で利用される予定です。

大地に触れるよろこび

大琴小農作業体験

高瀬小

全校児童
鼓笛パレード



▲1年生 パン食い競争



▲4年生 100m走

八塩小



3・4年生
安全第一リレー



▲全校児童 鼓笛パレード



▲1・2年生
こいのぼりリレー



▲1・2年生 玉入れ



▲全校児童 バラバラ2001

大琴小

春の大運動会

全力尽くして
がんばりました

遠くはなれても

心はふるむように

東京東由利会総会

今年で三十九回を数える東京東由利会総会が、五月二十日、恒例の北区赤羽会館で行われました。

当日の出席は約百四十名、首都圏在住の仲間が今年も元気な姿を見せました。

本総会は来年で四十回を迎えることになり、会議では会員から、四十回を記念した内容についての意見が

ども述べられていました。

総会のあとのアトラクションでは、首都圏で活動している会員が民謡を披露し、和やかになったところで引き続きお待ちかねの懇親会が始まりました。

また場内では、「やしおそば」「や、JA特産物振興会から届けられた「マユダマ」「ナスのみそ漬け」などのセットが限定販売され、アトラクションや懇談の合間に、参加者が自宅用や近所へのおみやげなどとして買い求めていました。

東京東由利会は昭和三十年代後半に結成され、当時 下郷・玉米両地区の村出身者同士が、現地でのコミュニティを推進するために、現地情報の提供や就職活動を支援する 首都圏在住者とふるさととの架け橋になるなどの活動を始めて現在に至り、中には発足当時から会員もいます。会では「新しい会員の参加を呼びかけ、今後ふるさとを絆とした仲間の活動を続けていきたい」と話していました。

みんな
元気になっていますよ！



「下中第五期生のみなさんへ。東京東由利会に参加し、ふるさとの皆さんのことをたくさん話しました。在京同期生も毎回多数参加しています。元気ががんばってください。」（大田区、阿部良助さん）
「川の汚れは町の汚れ」（江東区、勝良栄さん）
「東京東由利会でいこの民謡を聴きたかったのだけれど今年には会えなくて残念。また次回の再会を楽しみにしています。」（平塚市、薄井リツさん）
「今月にふるさとに帰ります。みなさんよろしく。」（我孫子市、菊地昭雄さん）
「ふるさとは一生忘れられません。」（荒川区、渡辺孝子さん）
「お百姓さんが元気に働けるよう、町づくりをがんばって欲しいです。」（幸手市、清水弘子さん）
「ふるさととの山や川にゴミが落ちてるのは残念です。いつまでもきれいな町を守ってください。」（加須市、幕田玲子さん）
「広報に掲載された上里の雪景色の写真を毎日懐かしく眺めています。おいっ子と旦那様へ、写真を送ってくれて

参加者のみなさんから メッセージ

ありがとうございます。」（清瀬市、加藤あき子さん）
「藤原さんへ、写真の入選おめでとう。同級生みんな喜んでいます。」（北区、大河原喜美子さん）
「人口減少は残念ですが、今でも故郷が一番恋しいです。老後は東由利で暮らしたいです。」（松戸市、佐々木良輝さん）
「今日は楽しかった。できれば田舎に帰りたいな……」（船橋市、畠山昭徳さん）
「歳をとつても元気で」（大田区、太田君夫さん）
「一回目から参加しています。元気でまた会いましょう。」（大田区、小笠原丈夫さん）
「東由利町全体が元気でありますように。」（松戸市、高橋勝昭さん）
「元気の出る町、なお一層発展しますように。」（世田谷区、畠山俊六さん）
「田代の藤丸隆・テル様へ、弟は元気で過ごしています。ご安心の程を。」（品川区、中村政雄さん）
「初めて参加しました。楽しい!!」（江戸川区、小松又次さん）
「お国なまりがなつかしいです。」（横浜市、斉田重子さん）

ニュース & トピックス

新会長に阿部弘章氏就任



▲阿部弘章氏協会会長
日、町体育協会の理事
会が行われ、阿部弘

章さん（蔵）が会長に就任しました。
新会長となった阿部さんは現在ゲートボール協会に所属しており、平成四年から現在まで同単位協会の副会長を務められています。また平成九年から

東由利町体育協会

は町体育協会の副会長を務めており、今年の改選で会長に就任したものです。また今回副会長には、石綿喜代隆さん（スキークラブ所属）が就任されました。

町体育協会は各種スポーツ団体の支援や育成、スポーツ表彰などの主催事業を行っており、年間を通じ町の体育振興を目指し活動をしています。



会場スナップ



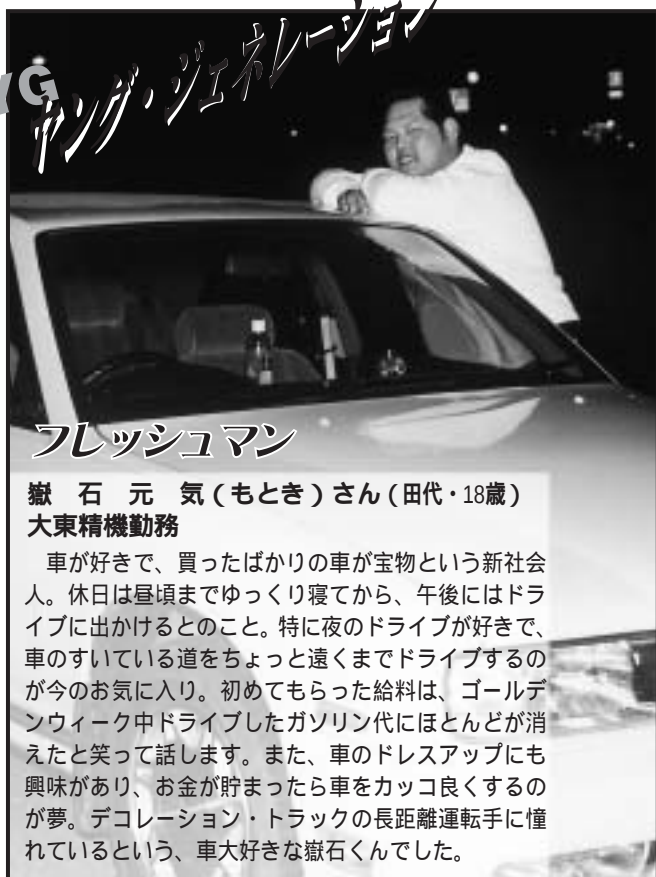
元気に泳げ！こいのぼり

宿泊会まちづくり活動

▲色鮮やかなこいのぼりが季節感を楽しませます

毎年恒例となっている宿河川公園の鯉のぼりが、今年も四月の下旬から青空をバックに高瀬川（石沢川）の上を元気に泳ぎました。
この鯉のぼりは、宿泊会が河川公園のイメージアップを図り、まちづくりにつなげようと平成二年から始めたもので、家庭で使わなくなったものを寄付してもらって利用しています。中心となって活動を進めている小野清幸さんは、「この活動によって町全体のイメージアップにつながれば嬉しい。今後も積極的に活動を続けていきたい。」と語っていました。

ヤング・ジェネレーション



フレッシュマン

嶽石元氣（もとき）さん（田代・18歳）
大東精機勤務

車が好きで、買ったばかりの車が宝物という新社会人。休日は昼頃までゆっくり寝てから、午後にはドライブに出かけるとのこと。特に夜のドライブが好きで、車のすいている道をちょっと遠くまでドライブするのが今のお気に入り。初めてもらった給料は、ゴールデンウィーク中ドライブしたガソリン代にほとんどが消えたと笑って話します。また、車のドレスアップにも興味があり、お金が貯まったら車をカッコ良くするのが夢。デコレーション・トラックの長距離運転手に憧れているという、車大好きな嶽石くんでした。

『思い出たから箱』

現在の大琴小学校は、明治7年に開校した宿小学校、明治20年から歩んできた袖山小学校が、昭和56年に統合して創設されました。そして先般高瀬小学校との統合が決まり、宿小学校開校以来120余年に渡る輝かしい歴史と伝統に、一つの区切りを迎えることになりました。

それぞれの時代の懐かしい「思い出」がいっぱい詰まった学校（たから箱）。その思い出を大切に、夢と希望を持ってたくましく子供たちに生きて欲しいという願いを込めて、学校では今年度行う一連の事業を『思い出たから箱事業』と名付けました。

最後の年となる平成13年度に、学校と児童、親、そして地域が一緒になり事業が実施されます。その一連の活動と学校の歴史を、シリーズ「さよなら大琴小学校」としてお伝えしていきます。

学校最後の年となる今年度は、大琴小学校二十周年の年であり、また十周年の記念事業で埋めたタイムカプセル開封の年でもあります。これらを総称して「思い出たから箱事業」と名付け記念事業を行うこととし、「思い出たから箱事業実行委員会」を設立いたしました。

この事業の中では、記念碑の建立、記念誌の発行、タイムカプセル開封、そして記念式典などを予定しております。

さしあたり、記念事業の総まとめとなる「記念式典・祝賀会」を十一月三日（土）に行うことといたしました。大琴学区出身のたくさんの方々に出席いただきたいと思います。

また、この事業に寄付を募る計画をしております。みなさまの大琴小学校へ、温かいお志をお願いいたします。

——大琴小学校

無事故へのアドバイス

～自分の能力の8割程度のスピードを～

道路条件に合わせてスピードをコントロール
考え事やわき見などが危険を見逃すもとです。体調にも気を遣って運転に集中できるよう心がけましょう。

自分にとっての安全なスピードに徹する
同乗者や後ろの車からせかされても、無理なスピードを出さないこと。どんな時でも安全に止まれるスピードが大切です。

心に「ゆとり」をもつ
遅れてはいけないという気持から、無理な追い越しや交差点通過をしたいという気持の時がとても危険です。事故を起こせば時間に遅れるばかりか、他人の将来や社会的地位を失ってしまうことにもつながります。

本 庄 警 察 署

交通安全は ■ 自分と相手の注意から

今年のGW期間中、県内では八十五件の事故があり、うち本庄署管内では十二件となっています。また東由利町においては、この春に小学生三人が交通事故に遭っています。

交通事故は、一人一人が交通ルールやマナーを守ることが大切ですが、相手の動きにも注意していなければ防げない場合もあります。誰一人不幸な事故に遭わないように、人と車のある場所では気を引き締めるよう心がけましょう。



▲人形がひかれる衝撃にびっくり
（小学校交通安全教室より）

仁賀保町から

第6回「秋田草刈り唄全国大会 in にかほ」

と き...6月16日(土)

9:00~

ところ...仁賀保町勤労青少年ホーム

入場料...500円

大会実行委員会事務局 32-3150

実験教室

と き...6月23日(土)

10:00~ 13:00~

ところ...フェライト子ども科学館(研究工房)

入館料...大人500円、子供300円

申込み締切...6/23(土)

フェライト子ども科学館 32-3150

鳥海町から

鳥海山夏山開き

と き...6月17日(日)

神事8:00~ 記念登山会8:45~

ところ...大清水園地

(鳥海山百宅口登山コース)

参加費...1,000円(小学生以下無料)

鳥海町企画観光課 57-2202

おとなり情報

~本荘由利の催物などを紹介します~

象潟町から

郷土資料館「大鳥海山展

~こころと記録に遺された山」

と き...6月1日(金)から1年間

ところ...象潟町郷土資料館

内容...周辺地域に遺された鳥海山にかかわ

る数々の資料を紹介。6/1の開会

行事のみ入館料無料

象潟町郷土資料館 43-2005

金浦町から

白瀬南極探検隊記念館「企画展」

と き...6月24日(日)まで

9:00~17:00

ところ...白瀬南極探検隊記念館

内容...初めて南極越冬隊として選ばれた竹

内智氏(金浦町出身)の南極での研

究や生活を紹介

白瀬南極探検隊記念館 38-3765

西目町から

創立30周年記念コロニー祭

と き...6月17日(日)

10:00~14:30

ところ...秋田県心身障害者コロニー中央公園

(雨天時 コロニー体育館)

内容...あべこ全司会による芸能発表(浅野

梅若社中の民謡、踊り他)、即売会

及び出店(各種花苗、焼き物他)

秋田県心身障害者コロニー企画調整課

33-4528

本荘市から

菖蒲まつり

と き...6月23日(土)~7月1日(日)

ところ...菖蒲公園

本荘市観光協会 24-3321

加藤登紀子コンサート2001

と き...6月16日(土)

18:30開演

ところ...本荘文化会館

入場料...5,000円

本荘文化会館 22-3033

海野義雄ヴァイオリンリサイタル

と き...6月27日(水)

18:30開演

ところ...本荘ポートプラザアクアバル

入場料...一般2,500円

中・高・学生2,000円

本荘ポートプラザアクアバル

22-3033

秋田県立大学システム科学技術学部
開学2周年記念特別講演会

と き...6月5日(火)

ところ...秋田県立大学システム科学技術学部

A Vホール

内容...「科学者、技術者を目指すみなさん

へ」講師/阿部博之氏

秋田県立大学本荘キャンパス

27-2000



老方郵便局から
4月20日の郵政記念日、
時計寄贈
老方郵便局から町に時計が寄
贈されました。美しいメロデ
イが時を刻んでいます。

ヘルシークッキング Vol.12

よりよき生活習慣で病気を予防する



「月見蒸し」(4人前)
《材料》(大...大さじ、小...小さじ)
卵4個、とり肉(もも)80g、しいたけ4枚、人参40g、
たけのこ40g、みつ葉12g、だし汁120g、
しょうゆ大1弱、みりん大1弱、さとう小1弱
《作り方》
鶏肉は一口大に切り、しいたけ・人参は飾り切り、
たけのこは薄切りにして、調味料で煮る。
容器に を煮汁とともに盛り分け、卵をおとし、み
つ葉をちらして蒸す。
《アドバイス》
具に下味をつけ、蒸すこ
とで味がしつかりしみこむ
ので、減塩食(塩分量0.8g)
としての一品です。卵は蒸
しすぎず、温かいうちにい
ただくことをおすすめしま
す。

(高橋保健婦)

国家公務員採用試験の お知らせ(種・税務)

人事院・国税庁では、国家公務員採用(種(税務)試験

(高校卒業程度)の募集を行います。

■受付期間

6月20日(水)から6月27日(水)まで

(郵送の場合は最終日消印有効)

■第一次試験

9月2日(日)

【申込・問合せ】

本荘税務署総務課

TEL 22-2335

できるだけ寝たきりにならず、自立した生活を送ることができるように支援する、在宅高齢者のためのサービスです。



おおむね65歳以上の高齢者の方が対象です

	事業名	サービス内容	利用料
介護予防・生活支援事業	配食サービス	在宅で生活している高齢者に対して、栄養バランスのとれた食事の提供と利用者への声かけや安否の確認をします。	1食200円
	生活管理指導員派遣（ホームヘルパー）	要介護状態になる危険性のある者への日常生活、家事、対人関係等への支援、指導などを行います。	1回1時間程度 400円
	生活管理短期宿泊（ショートステイ）	要介護状態になる危険性のある者へ短期間宿泊しての日常生活、対人関係等への支援、指導などを行います。	1日400円 食事代、日常生活用品は実費
	生きがい活動支援通所（デイサービス）	家に閉じこもりがち、又は要介護状態になる危険性のある高齢者に対して、通所により入浴、食事、趣味活動、生活指導等のサービスを提供し、生活にはりを持たせます。（デイサービスセンター利用）	1回500円 昼食350円
		家に閉じこもりがち、又は要介護状態になる危険性のある高齢者に対して、通所により趣味活動、生活指導等のサービスを提供し、生活にはりを持たせます。（秋田しんせい農協利用）	1回300円 食事代等実費
	軽度生活援助	在宅の一人暮らし高齢者等の自立した生活の継続と、要介護状態への進行を防止するため、簡易な日常生活上の援助を行います。	1回1時間程度 100円
	寝具類洗濯乾燥サービス（寝具レンタル）	寝たきり状態等で寝具の衛生管理が困難な高齢者等に対して、寝具類一式を1ヶ月単位でレンタルします。	月400円
家族介護支援事業	地域ケア体制整備（ふれあい安心電話）	一人暮らしや高齢者世帯に対して、ふれあい安心電話を設置し、日常の悩みや不安、緊急時の状態に支援します。	月300円
	家族介護者教室	高齢者を介護している家族や近隣の援助者に対して、介護方法や予防に対する知識や技術を習得する教室を開きます。	無料
	家族介護者交流	高齢者を介護している介護者の相互交流会を開催し、心身のリフレッシュを図ります。	実費
	家族介護用品支給	在宅で高齢者を介護している家族に対して紙おむつなどの介護用品を支給します。	無料
	ホームヘルパー受講支援	ホームヘルパー研修（2級・3級）を受講した者に受講料の一部を補助します。	

問い合わせ 町民福祉課福祉係 69-2117
 在宅介護支援センター 69-3938
 社会福祉協議会 69-2135



小 野 悠 花 ちゃん
下吹（武志さん）



遠 藤 ありさ ちゃん
祝沢（貴浩さん）



遠 藤 美 優 ちゃん
新所（勝さん）



齋 藤 哲 平 くん
石高（眞一さん）

ちびっこ 大集合

元気にすくすく
育つてま～す

～1歳6ヶ月児健診より～

むし歯のなかった子にはマーク
がついています



浅 田 彩 乃 ちゃん
舟木（和幸さん）



佐 藤 梨 花 ちゃん
泡ノ淵（和寿さん）



柿 崎 蓮 くん
下通（大さん）



草 薺 菜 穂 ちゃん
新町（和行さん）



阿 部 史 奈 ちゃん
新町（樹悦さん）



阿 部 穂 積 ちゃん
新町（淳さん）

学童野球郡大会が本町で

第六回由利郡学童野球大会

が本町の勤労者野球場・

町民運動場・高瀬小グラ

ウンドと大内町の山村広

場で行われます。期日は

六月九日・十日、十七日

の三日間。

五月二十四日の抽選会

の結果、町内三小学校は

すべて地元会場で行うこ

とになりました。初日の

対戦相手などは次の通

り。

《八塩小》試合会場・町民

応援よろしく
お願いします

グラウンド、対戦相手・下

川大内小、試合開始・

十時 勝てば十三時か

ら上浜小と対戦

《高瀬小》試合会場・

高瀬小グラウンド、対

戦相手・岩谷小と象潟

小の勝者、試合開始・

十三時三十分

《大琴小》試合会場・

勤労者野球場、対戦相

手・笹子小、試合開

始・十一時三十分 勝てば十

四時三十分から矢島小と対戦



すくーる
ぎやらりー

大琴小学校6年生の
作品「手紙」です。
とっても上手に書け
たのでぜひ見てって
ね！

せんせいから

これは6年生になって
最初の時間に書いたも
のです。堂々と balan
スよく書けていて、最
上級生らしさが感じら
れます。これからも下
級生の見本となるよう
にがんばりましょう。



ふるふと むかじむかじ

四八

飯喰わずの嫁つこ

むかしむかし、あるところに、とてもけちゃんぽな男がいました。男は「嫁つこをもらうと飯喰うからな、もつたない」と言つて、いつまでも一人で暮らしてあり、村の人たちからは「世の中に飯を喰わない人間はいないよ」と笑われているのでした。

ある晩のこと、男の家にきれいな娘がたずねてきました。そして、「私をここの嫁つこにしてください。飯は食べませんから」と頼むので、「ほほう、そりやええなあ」と男はよろこんで娘を嫁つこにすることにしました。

娘は次の日から一粒の飯も口にせず、朝から晩まで熱心に働くので、けちゃんぽな男はいい嫁つこがきたと得意になっていました。

ところが、たくわえておいたお米や芋、豆などがだんだん減つていくので、不思議に思つた男は、天井裏にこっそりかくれて家の中を見ることにしました。すると嫁つこはたくさんのお米をとき、大きな釜で炊き始めました。そして髪をほどくと、

なんと頭に大きな口がぼつかりとあいていて、炊きあがつた飯で作ったおにぎりをばいばいとその大口にほうりこんでいるのです。

これを見た男は、気を失くらしい驚いて、思わず「あつ」と声を出してしまいました。その声に気づいた嫁つこは、恐ろしい鬼の顔になり、「見たなつ」と男をにらみつけました。ふるえのとまらない男は食べられては大変と、急いで天井裏から降り、一目散に逃げました。鬼になった嫁つこは「まてえつ」と叫び、男をつかまえようと追いかけます。男は「ひゃー、喰われてしまうよ」。もうけちゃんぽないから助けてくれえつ」と必死に走つて、道傍のよ



(文と絵 石渡力造氏)

もぎとしようぶの茂みの中へ逃げこみました。すると鬼は「うつつ、ざんねん。よもぎとしようぶはわしの大嫌いな草なんじゃあつ」と言つて、茂みの中に入つてこれません。それを聞いた男は、ふるえる手でもぎとしようぶを引つこぬき、鬼に投げつけると、鬼は「ぎやあつ」と叫び、その姿はどこかへ消え去つてしまいました。

こうしたことがあつてから、端午の節句の日には災厄が入りこまないように、家々の軒端や窓辺などに、よもぎとしようぶを差しこみ、厄除けにしたということです。

季節を詠む

(せせらぎ句会)

孫と云う歌のまことや五月鯉	秋田市 嵯峨義之
花狩の話のはずむ診療所	中通 小松順之助
明易やひとときふへし人去りて	舟木 大庭 喜右衛門
今年また休む棚田に落花くる	舟打場 高橋 民治郎
畑仕事手つかず八十八夜かな	小倉 遠藤 トミ子
天空に翼あづけて鷺巣立つ	蔵新田 小野 貞子
松の芯こそり雪嶺昏れむとす	五海保 嶽石 レイ
花の塵払はず蓆たたみけり	横小路 宮野 源二郎
ばちばちと焼けるおにぎり遅桜	上里 小野 石路子
鯉織星を呑まんと夜を競ふ	家の下 小松 正昭
大声で朝の挨拶風薫る	蔵新田 小笠原 亮子
這い這いのおんもを目ざす薄暑かな	久保 高橋 典三
こでまりの散るとき白きつむじなす	時雨山 吉川 葉子
春愁や二種類ふえし処方薬	下小路 小松 メサ
初音聞くエプロンに手を拭きながら	山崎 小松 良子
少子化の所どころに鯉のぼり	蔵新田 小笠原 トミ
初蛙野宴いつとき途切れけり	横小路 小松 丈介
黄桜の彩を沈めてダム蒼し	高戸屋 小松 敏雄

製材品 合板、紙など私たちの生活に欠かすことのできないさまざまな品物が木材からつくられています。こうした各種の製品に加工される木材を一般に用材と呼びます。

林野庁によって作成された木材需給表をみると、平成十一年におけるわが国の用材需要量（丸太換算）は、九、七八一万立方メートルで対前年比六パーセント増ですが、平成十年に引き続き、一億立方メートルを下回っています。

用途別内訳は、製材用材四二パ

ーセント、パルプ、チップ用材四二パーセント、合板用材一四パーセント、その他用材が二パーセントとなっており、平成元年には木材需要量の五割を占めていた製材用材は漸減傾向にあります。

また、平成十一年における木材供給量をみると、国産材は一、八七六万立方メートルで前年に比べ三パーセント減少している一方、外材は七、九〇五万立方メートルと前年より九パーセント増加しています。このため、国産材の割合は一九・二パーセントと減少し、外国産の製材用材が着実に増加しています。

（町林業懇話会会長 佐藤恒悦氏）

東由利・成立

区分	頭数	平均体重	平均価格	kg当単価
去勢	25	307kg	461,538円	1,434円
雌	23	277kg	390,783円	1,337円
全体	48	293kg	427,634円	1,393円

最高価格

	金額	父	母の父	母の祖父
去勢	520,800円	福谷福	安美金	第7系桜
雌	640,500円	平茂勝	北国7の8	紋次郎

径	級	単価(石)	備考
直材36cm上		6,000～16,000	(A玉)
24～34cm		4,800	(A玉)
14～22cm		3,700～3,800	
13cm下			
曲り材			

（平成十三年五月・平均価格）
四五年生、五五年生

材質の良い物件だけの抜き買いで、落札率も23%と低調。

五月家畜市場

木材共販市況

雲（ながれ）

八嶋保（上通）さんの作品です。

本作品は「第42回秋田県美術展覧会（写真の部）」で入選しました。





郷土の野草

東由利

NO.196

ミツバ (セリ科)

文・写真 小松忠正氏

日本全土、中国や朝鮮などの山地に生える多年草で、萌えだして間もないものは香りがよく、野菜として利用されるため栽培されることもあります。茎は40〜70センチメートルにもなりま

す。葉は互生し、卵形か楕円形の3小葉からなり、不整のとがった鋸歯があります。ここでは7月頃、のびた茎の先から小枝を分け、その先に複散形花序(花軸を散形に出した上、更に各軸頂に花を散形につけるもの)に数少ない5弁の小さな白花をつけます。和名は葉の数が3枚であることでいわれます。

6月▶データ東由利

4/1~31

住民基本台帳 ()は前月比

	月末人口	前月比
男(人)	2,445	- 7
女(人)	2,594	- 3
計(人)	5,039	- 10
世帯数(戸)	1,387	3

	月間異動人数	1月からの累計
出生(人)	4	14
死亡(人)	5	17
転入(人)	13	28
転出(人)	24	78

消防・交通

	月 間 発生数	1月からの 累 計
火災出動(件)	2	3
救急出動(件)	12	58
交通事故(件)	3	9
死亡(人)	0	0
傷者(人)	5	17
飲酒運転(件)	0	0
酒気帯び(件)	0	3

戸籍の窓口

(4月21日、5月20日届出)

●お誕生おめでとう

4/16 浅田 美咲ちゃん 和幸 船木

4/18 佐藤 萌音ちゃん 純義 宏松 柴

●ご結婚おめでとう

3/16 小松 和也さん 松柴 遠藤 歩さん 小倉

●ごめい福をお祈りいたします

4/20 嶽石友治郎さん(87)ノブ・夫(東光苑)

4/20 遠藤 正栄さん(51)正信・父・小倉

5月号「戸籍の窓口」の「お誕生おめでとう」で柿崎成くんが「中道」となっていました。『下通』の誤りです。おわびして訂正します。

広報への掲載を望まない方は届出の際にお知らせください。

6月の行事予定

- 1 乳児健診
- 2 中学校フリー参観
- 3 藤丸会郷土訪問公演
- 5 予防接種(個別・麻疹)
- 9、10、17 第21回全日本学童軟式野球秋田大会由利郡予選(第6回由利郡学童野球大会)
- 11 大腸がん検診
- 12 議会定例会 大腸がん検診 献血
- 17 町民運動会
- 20 敬老会・70歳を祝う会
- 21 食生活改善講習会
- 21~26 IT講習
- 22 予防接種(ポリオ)
- 25 フレッシュ教室
- 26 予防接種(個別・三混) ことぶき大学
- 27 大腸がん検診(追加)
- 28 3歳児健診

フィルムひとこま



4月下旬、小松沢(山崎地区)で水芭蕉が見ごろになっていると聞き現地へ行ってみました。川の上流へ入ったところ、道路脇の湿地帯に見事な花を咲かせ群生していました。緑と白のコントラストが鮮やかで、どこか艶のある面持ちでした。(広報担当)

お礼

広報送付謝礼として次の方から金一封をいただきました。
遠藤記さん(郡山市)、小松洋治さん(水戸市)、松金トミ子さん(潮来市)、笹原栄子さん(川崎市)、長沼寛之助さん(相模原市)。
また、次の方から町へご芳志をいただきました。阿部守さん(秋田市)。
社会福祉協議会に次の団体からご芳志が寄せられましたのでご紹介いたします。
協同組合東由利ショッピングプラザ、JA特産物振興会



ほっとひといき

日中25度を超える日もあり、初夏を思わせるこのごろです。タンスから夏服を出した人も多いのではないのでしょうか。5月20日に行われた「東京東由利会」に出席しましたが、その際には半袖のワイシャツにしました。上着を脱いでも日中は暑いくらいで、街で見かける人も半袖姿が多く、東京は一足先に夏を迎えたようでした。(佐)